

プレスリリース

アリスタ ライフサイエンスをプラットフォーム スペシャルティ プロダクツ コーポレーションが買収

アイルランド、ダブリン（2015年2月17日） – Arysta LifeScience Limited（アリスタ ライフサイエンス）は本日、Platform Specialty Products Corporation (NYSE:PAH)（プラットフォーム）が、運転資本その他の調整を条件として発表済みの35億1,000万ドルにて、アリスタライフサイエンスの買収を完了したと発表しました。買収の完了を受けて、アリスタライフサイエンスの社長兼最高経営責任者（CEO）ウェイン・ヒューエットはプラットフォームの社長に就任し、マーティン E. フランクリンとダン H. リーバーとともにプラットフォームのチェアマン・オフィス（OTC）のメンバーとなりました。ウェイン・ヒューエットはこの役職において、農薬事業の指揮を執り、プラットフォームの進行中の事業を統括することになります。また、これまでアリスタライフサイエンスのラテンアメリカ事業部門の責任者であったフラビオ・プレッチは、新設されたプラットフォームの農薬部門の最高執行責任者（COO）に指名されました。

今回完了した買収は、2014年10月1日のアグリファアグループの買収と、2014年11月3日のケミチュラ アグロソリューションズの買収に続く、プラットフォームによる農薬分野3回目の買収です。これにより、従来型と非従来型の両方のアグロソリューションにおける、最も総合的かつグローバルなラインナップが構築されることとなります。統合後のプラットフォームの新しい農薬事業は、アリスタライフサイエンスの商号に一本化される予定で、垂直統合型の農薬事業分野として運営され、売上高はおよそ21億米ドルを見込みます。

プラットフォームの新社長ウェイン・ヒューエットは、「今回の買収完了は、アリスタライフサイエンス、アグリファアグループ、ケミチュラ アグロソリューションズが世界中のプロフェッショナルを集めたチームの力を頼りに1つになることにより生まれる、またとない成長の機会ですので大いに活用したいと思っています。新たに創設されたアグロソリューション部門は、製品ラインと地理的な優位性の両方の点で高成長に向かう強い力があり、また、業界をリードする有効成分と登録製品のポー

トフォリオを誇ることにより、絶えず変化する世界中の生産者からの要望に応えることができるソリューションの開発を続ける理想的な立場にあります。」と述べました。

新しい会社は、世界 125 カ国以上で事業展開、オペレーションの効率化をほとんど即時に実現することができるグローバルサプライチェーンのメリットを最大限に生かしていく予定です。

#

アリスタ ライフサイエンスについて

今回 Platform Specialty Products の傘下となったアリスタ ライフサイエンスは、クローププロテクションとライフサイエンス関連製品における代表的な企業で、2013年の売上は15億米ドルです。世界125カ国以上でクローププロテクションとライフサイエンス関連製品を積極的に提供し、世界中のパートナーのニーズを満たす、評価の高いクローププロテクションブランドとライフサイエンス関連製品の販売と流通を専門としています。アリスタ ライフサイエンスの詳細な情報は www.arystallifescience.com をご覧ください。

プラットフォームについて

プラットフォームは、ハイテクノロジーを利用した特殊化学品の世界的なメーカーであり、テクニカルサービスの提供も行っています。原材料をブレンドすることにより作られるさまざまな特殊化学品の製造と、これら化学品の多工程技術プロセスへの組み込みを事業としています。こうした特殊化学品とプロセスは、農業、エレクトロニクス、グラフィックアート、金属・プラスチックめっき、沖合いでの石油生産・掘削など、さまざまな産業向けに販売されています。プラットフォームについての詳しい情報は www.platformspecialtyproducts.com をご覧ください。

将来の見通しに関する記述

このプレスリリースには、このほど完了したアグリファアー グループやケミチュラ アグロソリューションズ、アリスタライフサイエンスの買収に限らず、完了した買収および将来の買収を受けて、成功裏に統合し予想される業績や相乗効果を挙げるプラットフォームの能力に関する記述に限らず、将来の見通しに関する記述が含まれています。市場その他の経済状況、事業成長への資金供給に必要な新株発行または借入の将来の利用可能性についてのプラットフォームの知見など、さまざまな要因によって、実際の結果が将来の見通しに関する記述の予測と異なることがあります。この将来の見通しに関する記述は、プレスリリースの日付時点でのものであり、将来の出来事と資金調達状況についてのプラットフォームの経営陣の見通しと推定に基づくものです。プラットフォームは、この将来の見通しに関する記述を更新する義務または結果がこの将来の見通しに関する記述と異なる可能性があること、理由を更新する義務は、一切負いません。結果を変動させる要因については、2013年12月31日を期末とする会計年度についての書式 10-K のプラットフォームの年次報告書および2014年6月30日と2014年9月30日を期末とする会計期間についての書式 10-Q の四半期報告書の「リスク要因」の項など、証券取引委員会に提出されたプラットフォームの定期報告書およびその他の報告書に含まれています。

問い合わせ先：

アリスタライフサイエンス株式会社
広報担当
石丸恵美子
(03) 3547-4649
emiko.ishimaru@arysta.com